

☆阿南ライオンズクラブの皆様と那賀川に関する講座☆ 「那賀川について」を開催

那賀川河川事務所では、阿南ライオンズクラブの依頼を受け、9月21日(水)に那賀川についての出前講座を開催しました。



開催にあたっては、パワーポイントを用いて、那賀川の現状、流域に日最大雨量で全国1位が観測された観測所があるように雨の多い地域であること、全国的に報道された加茂地区の無堤地区解消の工事に着手したこと等の説明をさせていただきました。

近年の治水対策

根幹的な堤防の整備・無堤部の堤防整備

- ◆加茂箇所
- ◆約50haの脆弱地区に約300人の集落がある無堤地区
- ◆平成16～27年の12年間に11回の浸水被害が発生。平成26年台風11号洪水では、189戸の浸水被害が発生
- ◆加茂谷中学校では校舎2階まで浸水。平成26年9月～12月の4ヶ月間、修繕工事のため2階の教室が使用不能
- ◆平成27年2月に床上浸水対策特別緊急事業に採択、平成31年度に堤防整備の完成予定



近年の治水対策(加茂箇所イメージベース)

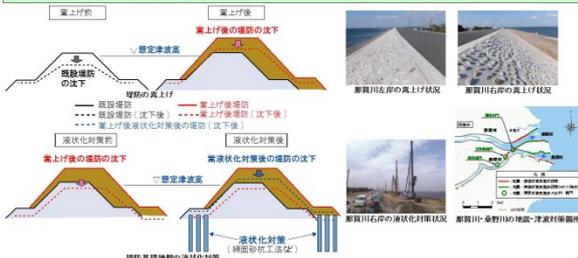


また、地震・津波対策、長安ロダムの改造事業等の内容についても説明をさせていただき、参加者から、那賀川の現状が理解できた。等の感想を頂きました。

近年の治水対策

地震・津波対策

- ◆堤防の嵩上げ、液状化対策、水門・樋門の耐震化等
- ◆東日本大震災を踏まえた大規模地震・津波対策
- ◆堤防の嵩上げ:液状化で堤防が沈下しても施設設計上の津波(数十年から百数十年に一回発生)が越えない高さに嵩上げ
- ◆堤防基礎地盤の液状化対策:液状化による沈下が大きく施設設計上の津波が越える箇所では地盤の液状化対策も実施
- ◆水門・樋門の耐震化等:津波及び洪水による浸水被害の発生を防ぐため、水門・樋門の耐震対策及び施設操作の自動化・高速化・遠隔化対策を実施



近年の治水対策

洪水調整能力の増強

- ◆予備放流水位を下げ、洪水調節容量を増加させます。
- ◆新しく洪水吐を増設し、洪水調節容量を適正に活用できるよう低い水位での放流能力を高めます。

■ゲート放流イメージ図

